

【資料 1 - 2】

出雲圏域
県管理河川に関する減災対策協議会
(フォローアップ)

・令和3年度 of 取組状況

項 目	1. 水害危険性の周知促進（水位周知河川の指定）	
内 容	R3年度取組	—
	—	—
取組機関	島根県	

神戸川（県管理区間）

- 比較的河川規模が大きく、水位到達情報による避難行動が可能
- 急流河川で氾濫時には人的被害が懸念

【平成 18 年 7 月洪水】



出雲市所原町

【昭和 61 年 7 月洪水】



出雲市佐田町八幡原



【昭和 50 年 7 月洪水】



出雲市佐田町反辺（波多川）

出典：中国地方の水害

水位周知河川での取組み

- 河川管理者による**水位到達情報**（氾濫危険水位等）の発表【水防法第13条2】

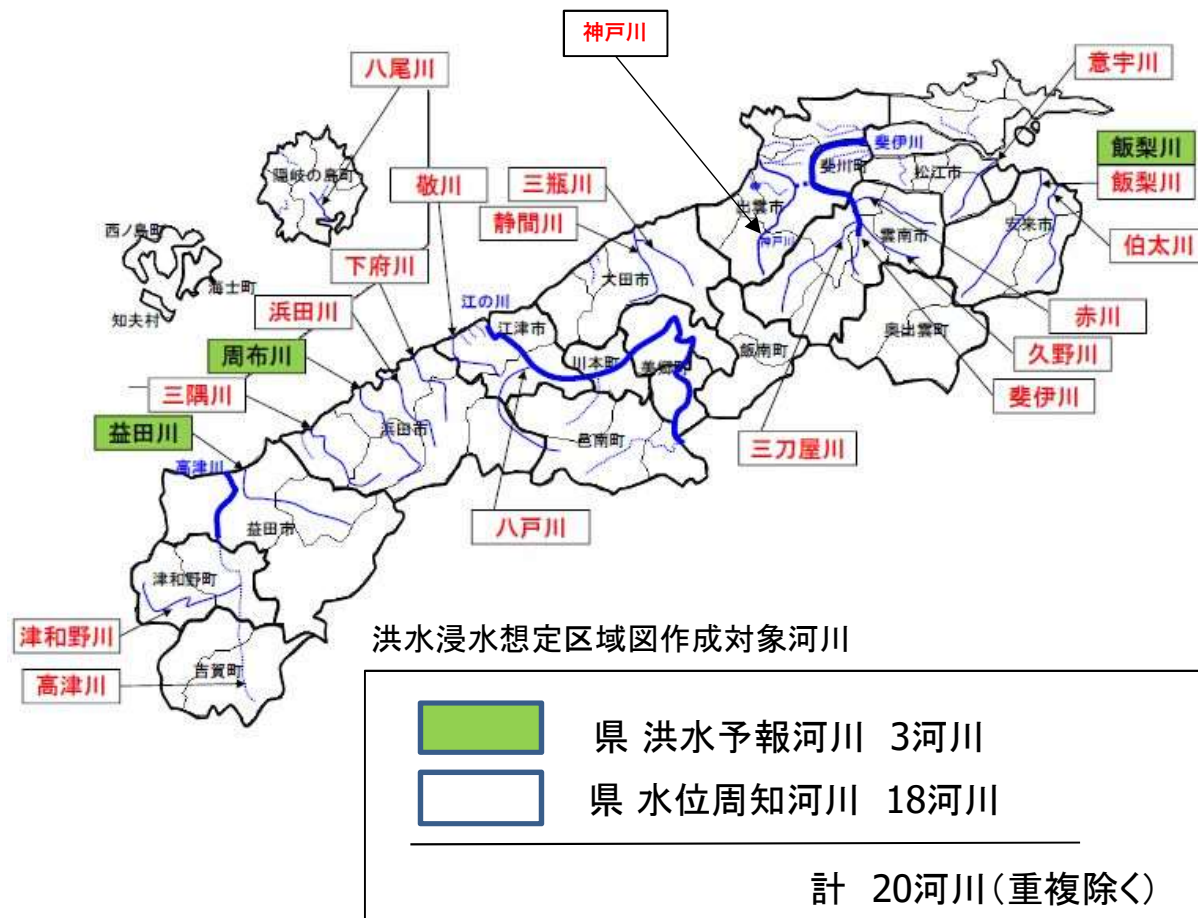
今後
 河川管理者による**洪水浸水想定区域**の公表【水防法第14条】
 市町村による**洪水ハザードマップ**の作成【水防法第15条】
 要配慮者利用施設の管理者等による**避難確保計画**作成、訓練【水防法第15条3】

- ◆ 水害リスクを知ること、平時における 住民等の備え
- ◆ 段階的な水位情報の発信により、洪水時の時間的余裕を持った対応

逃げ遅れによる人的被害の防止・軽減

項 目	2. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	
内 容	R 3 年度取組	神戸川の洪水浸水想定区域図公表 (02.6.23)
	—	—
取組機関	島根県	

□洪水浸水想定区域を作成する対象河川（県管理）



	対象河川	関係市町村	公表年次
1	意宇川	松江市	H30.5.25
2	飯梨川	安来市	R01.6.28
3	伯太川	安来市	R01.6.28
4	斐伊川	雲南市	H31.4.26
5	赤川	雲南市	H31.4.26
6	三刀屋川	雲南市	H31.4.26
7	久野川	雲南市	H31.4.26
8	神戸川	出雲市	R02.6.23
9	静間川	大田市	H31.4.26
10	三瓶川	大田市	H31.4.26
11	敬川	江津市	H31.2.22
12	八戸川	江津市	R01.10.23
13	浜田川	浜田市	R02.6.23
14	周布川	浜田市	R02.6.23
15	下府川	浜田市	R02.6.23
16	三隅川	浜田市	R02.6.23
17	益田川	益田市	H30.5.25
18	津和野川	津和野町	H30.5.25
19	高津川	吉賀町	H30.5.25
20	八尾川	隠岐の島町	H31.2.22

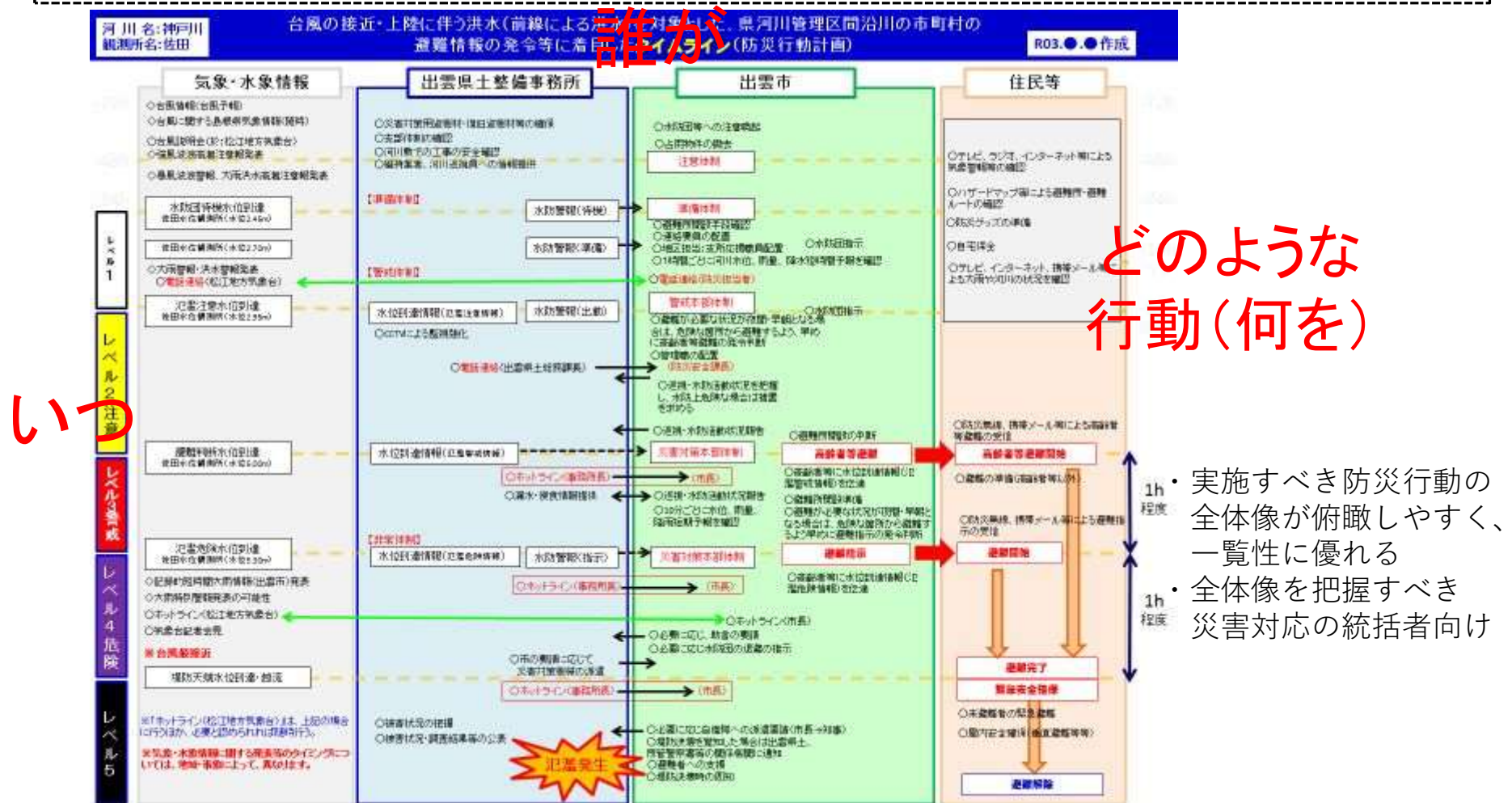
項 目	3. 水害ハザードマップの改良・周知	
内 容	R 3 年度取組	改定したハザードマップを全戸配布
	—	—
取組機関	出雲市	

国土交通省中国地方整備局による斐伊川水系浸水想定区域図の修正並びに国土交通省出雲河川事務所及び島根県による神戸川（馬木町より上流部）の浸水想定図の公表、令和3年5月の災害対策基本法の一部改正による避難指示への一本化など、防災ハザードマップを最新の情報に更新し、令和3年8月に全戸配布した。
また、ハザードマップを活用し、出前講座や地区防災訓練等において周知した。



項目	4. 避難情報の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	
内 容	R3年度取組	避難情報の発令等に着目したタイムラインの運用 【対象：神戸川水位周知区間】
	—	—
取組機関	協議会全体	

・実施すべき防災行動（何を）について、担当する機関（誰が）及び開始する時期（いつ）を取り纏めた「避難情報の発令に着目した水害対応タイムライン」を作成する



項 目	6.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 (R04年度～ 5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報提供の充実)	
内 容	R 03年度取組	記録的短時間大雨情報の改善
	R 04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

記録的短時間大雨情報の改善

【令和3年6月8日～】

- （記録的短時間大雨情報）大雨警報発表中に、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを伝えることで、どこで災害発生の危険度が高まっているかを「危険度分布（愛称：キキクル）」で確認し、自主的な安全確保の判断を促すもの。
- （改善のポイント）当該市町村が警戒レベル4相当の状況となっている場合にのみ発表することで、災害発生の危険度が急激に上昇し、速やかな安全確保が必要な状況となっていることを適切に伝えられるように改善。

これまで

大雨警報を発表中に、記録的短時間大雨情報の基準に到達したときに発表。

令和元年11月12日の胆振地方の例



災害発生と結びつきが強い情報に改善

改善後

キキクルで「非常に危険」(警戒レベル4相当)以上が出現し、且つ記録的短時間大雨情報の基準に到達したときにのみ発表する。



「キキクル」の危険度を発表条件に加えることで、災害発生の危険度が急激に上昇し、速やかな安全確保が必要な状況となっていることが伝わるように改善。

項 目	6.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 (R04年度～ 5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報提供の充実)	
内 容	R 03年度取組	「キキクル（危険度分布）」通知サービスの細分化
	R 04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

「キキクル（危険度分布）」通知サービスの細分化

【令和3年6月8日～】

- 住民の自主的な避難の判断によりつながるよう、「キキクル」の通知サービスについて、政令指定都市については、よりきめ細かい区単位でも通知を開始。

改善の方向性

- 危険度通知サービスの通知単位の細分化も含めた検討。
- ✓ 政令指定都市については、よりきめ細かい区単位でも通知を開始。
- ✓ 併せて、1kmメッシュの「キキクル」そのものを活用した、きめ細かな通知についても促進。
- ✓ 市町村における避難指示の発令単位の検討に気象台も積極的に協力し、準備が整った地域から発令単位等に合わせて市町村をいくつかに分けた通知を開始。（中長期的に検討を進める）

今回の改善

これまで



市町村の避難指示の
発令単位等に合わせて
市町村をいくつか
に細分した通知の提供

改善後のイメージ



項 目	6.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 (R04年度～ 5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報提供の充実)	
内 容	R 03年度取組	警戒レベルと対応した高潮警報等に改善
	R 04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

警戒レベルと対応した高潮警報等に改善

【令和3年6月8日～】

- 自治体や住民が高潮警報のみで避難が必要とされる警戒レベル4に相当しているかを判断できるよう、暴風警報発表中の「高潮警報に切り替える可能性が高い注意報」は高潮警報として発表するよう改善。
- ✓ 高潮災害からの避難は、潮位が上昇する前に暴風で避難できなくなるため、高潮警報のみでは判断できず、暴風警報も考慮した判断が必要とされている。

平成30年台風第21号の例

大崎市		今後の推移(■警報級 □注意報級)									
発表中の警報・注意報等の種別		4日					5日				
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	
大雨	1時間最大雨量(ミリ)	0	0	40	70	70	40				
	(浸水害)										
	(土砂災害)										
暴風	風向風速(矢印・メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12
	海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15	
高潮	高潮(メートル)	1.5	2	3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5	
高潮	潮位(メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5			

改善

大崎市		今後の推移(■警報級 □注意報級)									
発表中の警報・注意報等の種別		4日					5日				
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	
大雨	1時間最大雨量(ミリ)	0	0	40	70	70	40				
	(浸水害)										
	(土砂災害)										
暴風	風向風速(矢印・メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12
	海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15	
高潮	高潮(メートル)	1.5	2	3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5	
高潮	潮位(メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5			

高潮からの避難が必要な状況であることがより明確に伝わるようになり、より安全なタイミングで住民が避難することが可能に。

項 目	6.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 (R04年度～ 5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報提供の充実)	
内 容	R 03年度取組	線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起
	R 04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起

【令和3年6月17日～】

● 背景 ～なぜ始めるのか～

毎年のように線状降水帯による顕著な大雨が発生し、数多くの甚大な災害が生じています。この線状降水帯による大雨が、災害発生危険度の高まりにつながるものとして社会に浸透しつつあり、線状降水帯による大雨が発生している場合は、危機感を高めるためにそれを知らせてほしいという要望があります。

● 位置づけ ～情報のコンセプト～

大雨による災害発生危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。

※ この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報です。警戒レベル4相当以上の状況で発表します。

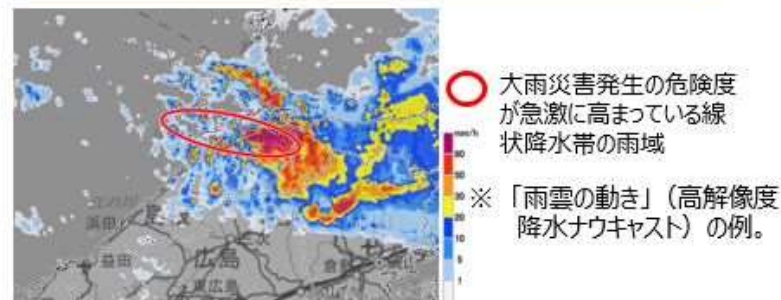
※ この情報により、報道機関や気象キャスター等が「線状降水帯」というキーワードを用いた解説がしやすくなることが考えられます。既存の気象情報も含めて状況を的確にお伝えすることにより、多くの方々に大雨災害に対する危機感をしっかり持っていただくことを期待します。

線状降水帯に関する情報のイメージ

顕著な大雨に関する〇〇県気象情報

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生危険度が急激に高まっています。

線状降水帯に関する情報を補足する図情報のイメージ（令和3年7月7日の例）



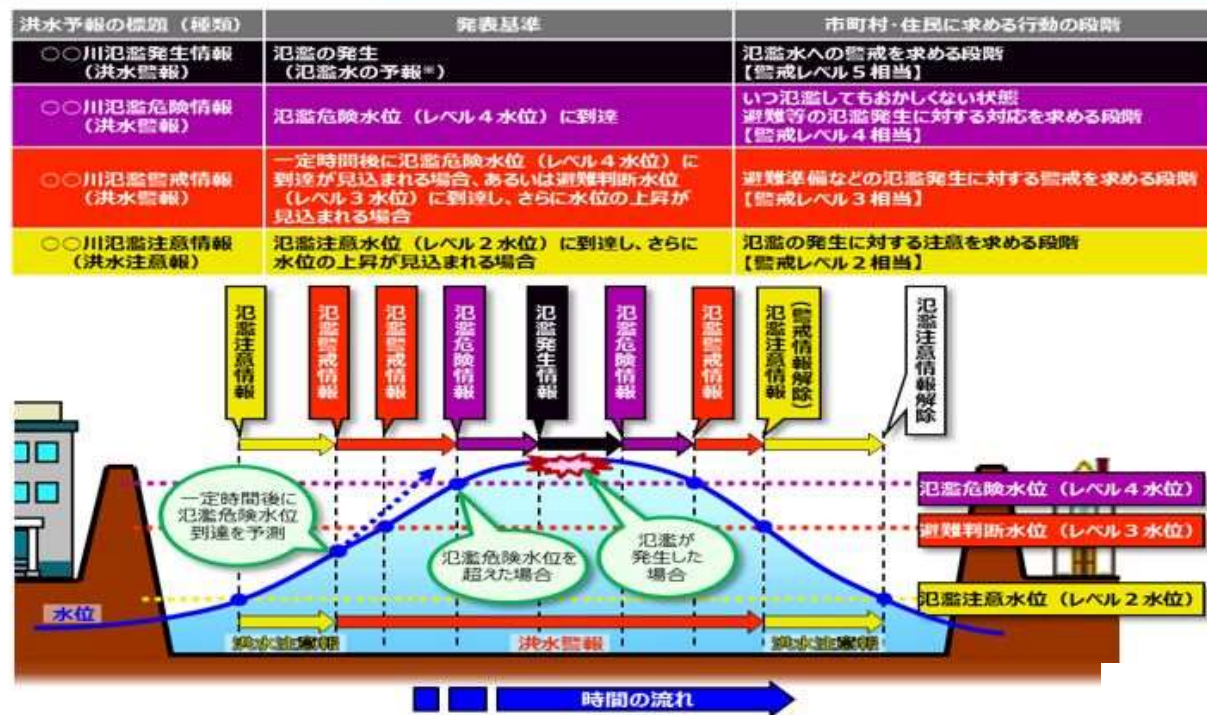
項 目	6.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 (R04年度～ 5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報提供の充実)	
内 容	R 03年度取組	指定河川洪水予報の改善
	R 04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

指定河川洪水予報の改善

【令和3年6月1日～】

- (指定河川洪水予報) 河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるよう、国または国と都道府県が共同で、あらかじめ指定した河川について、区間を決めて水位または流量を示して行う洪水の予報。
- (改善のポイント) 国管理河川における指定河川洪水予報の水位または流量の予測時間を、従来の3時間先から6時間先までに延長する改善を実施。



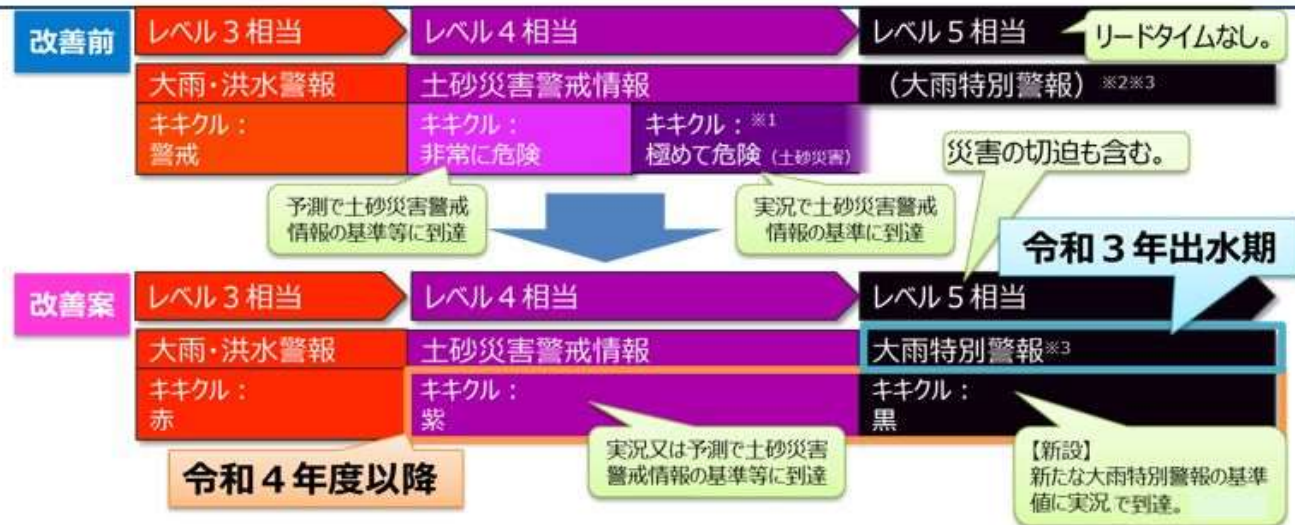
項 目	6.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 (R04年度～ 5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報提供の充実)	
内 容	R03年度取組	防災気象情報と警戒レベルとの対応
	R04年度予定	大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

防災気象情報と警戒レベルとの対応

【令和3年出水期】【令和4年出水期】

- 【令和3年出水期～】警戒レベル5に「災害の切迫」がある状況も含まれることに伴い、引き続き大雨特別警報を警戒レベル5相当として位置付け、警戒レベル5「緊急安全確保」の発令基準例として「避難情報に関するガイドライン」に記載する。
- 【令和4年度以降】新たな大雨特別警報の基準値への到達を示す「キキクル（危険度分布）」の「災害切迫(仮)」(黒)を警戒レベル5相当に位置付けるとともに、警戒レベル4が避難指示に一本化されることを踏まえ、「キキクル（危険度分布）」の警戒レベル4相当も「危険(仮)」(紫)に一本化する。



※1 避難指示（緊急）の発令基準。技術的な改善を進めた段階で、警戒レベルへの位置付けを改めて検討。

※2 市町村長は警戒レベル5の災害発生情報の発令基準としては用いない。

※3 重大な災害の起こるおそれ著しく高まっている場合に発表し、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

項 目	6.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 (R04年度～ 5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報提供の充実)	
内 容	R 03年度取組	防災情報提供システムでキキクル(危険度分布)のメール通知を開始
	R 04年度予定	大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
取組機関	松江地方気象台	

松江地方気象台 防災気象情報の改善(令和3年度実施)

防災情報提供システムでキキクル(危険度分布)のメール通知を開始

【令和3年6月3日～】

- 大雨時の防災対応に役立てていただくことを目的として、防災情報提供システムによるキキクル(危険度分布)のメール通知※を開始。
- 警報・注意報のメール通知と同様の仕組みで受信設定ができ、受信したい災害種別や危険度を自分で好きなようにカスタマイズすることができます。

受信設定可能な条件

● 災害種別

土砂災害、浸水害、洪水又はそれらを総合した危険度のうち、受信したいものだけを選択可能



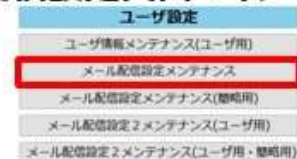
● 危険度

早期注意情報以上、「注意」(黄色)以上、「警戒」(赤)以上、「非常に危険」(うす紫)以上、「極めて危険」(濃い紫)以上のいずれか

● 配信対象地域

二次細分区域単位又は一次細分区域単位で設定可能

受信設定画面のイメージ



	配信の有無				頻度の設定
大雨(総合)	☐ 『非常に危険(避難)』以上になった際に配信	☐ 『警戒(高齢者等避難)』以上になった際に配信	☐ 『注意(避難行動の確認)』以上になった際に配信	☐ 『心構えを高める』以上になった際に配信	☐ 一定期間の再配信を抑制する
土砂災害	☐ 『警戒レベル4(避難)相当』以上になった際に配信	☐ 『警戒レベル3(高齢者等避難)相当』以上になった際に配信	☐ 『警戒レベル2(避難行動の確認)』以上になった際に配信	☐ 『心構えを高める』以上になった際に配信	☐ 一定期間の再配信を抑制する
浸水	☐ 『非常に危険(避難)』以上になった際に配信	☐ 『警戒(高齢者等避難)』以上になった際に配信	☐ 『注意(避難行動の確認)』以上になった際に配信	☐ 『心構えを高める』以上になった際に配信	☐ 一定期間の再配信を抑制する
洪水	☐ 『警戒レベル4(避難)相当』以上になった際に配信	☐ 『警戒レベル3(高齢者等避難)相当』以上になった際に配信	☐ 『警戒レベル2(避難行動の確認)』以上になった際に配信	☐ 『心構えを高める』以上になった際に配信	☐ 一定期間の再配信を抑制する

※ キキクル(危険度分布)の通知サービスについては、以下のリンク先に記載の5つの事業者でも実施しています。各社のアプリ等の仕様により通知の条件が異なる場合がありますので、詳しくは各社の説明をご覧ください。

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html

項 目	6.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 (R04年度～ 5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報提供の充実)	
内 容	R03年度取組	新水防情報システムへのアクセス数増加によるサーバーダウンを改善（島根県） 各種防災気象情報の改善（松江地方気象台）
	R04年度予定	新水防情報システムの運用による見直し（島根県） 各種防災気象情報の改善（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

島 根 県

1. 周知の取組状況

◇報道発表

- ・ H31.3.~5月
新聞4社、テレビ1社で報道

◇チラシ作成

- ・ 各種会議、出前講座、イベント、
小中学校等へ配布

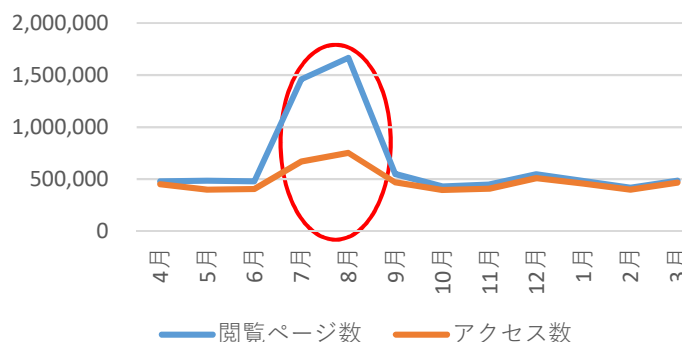


一般向けチラシ

小学校向けチラシ

2. 水防情報システムへのアクセス状況

令和3年度 アクセス数・閲覧ページの推移



- ◇R3.7月梅雨前線による降雨
R3.8月は台風によりアクセス数増加
➢CDN導入により正常な閲覧が可能

◇最大アクセス数（R3.7～8月） （1時間当り）

7/7 12:00~13:00

- ・ アクセス数 9,725
- ・ 閲覧ページ数 25,800

8/9 10:00~11:00

- ・ アクセス数 6,252
- ・ 閲覧ページ数 30,104

3. 今後の取組

◇防災メールへURL掲載（済）

◇過去の雨量・水位データの提供

- ・ ダウンロードサイトの開設（済）
- ・ 水防システムにリンク先を掲載

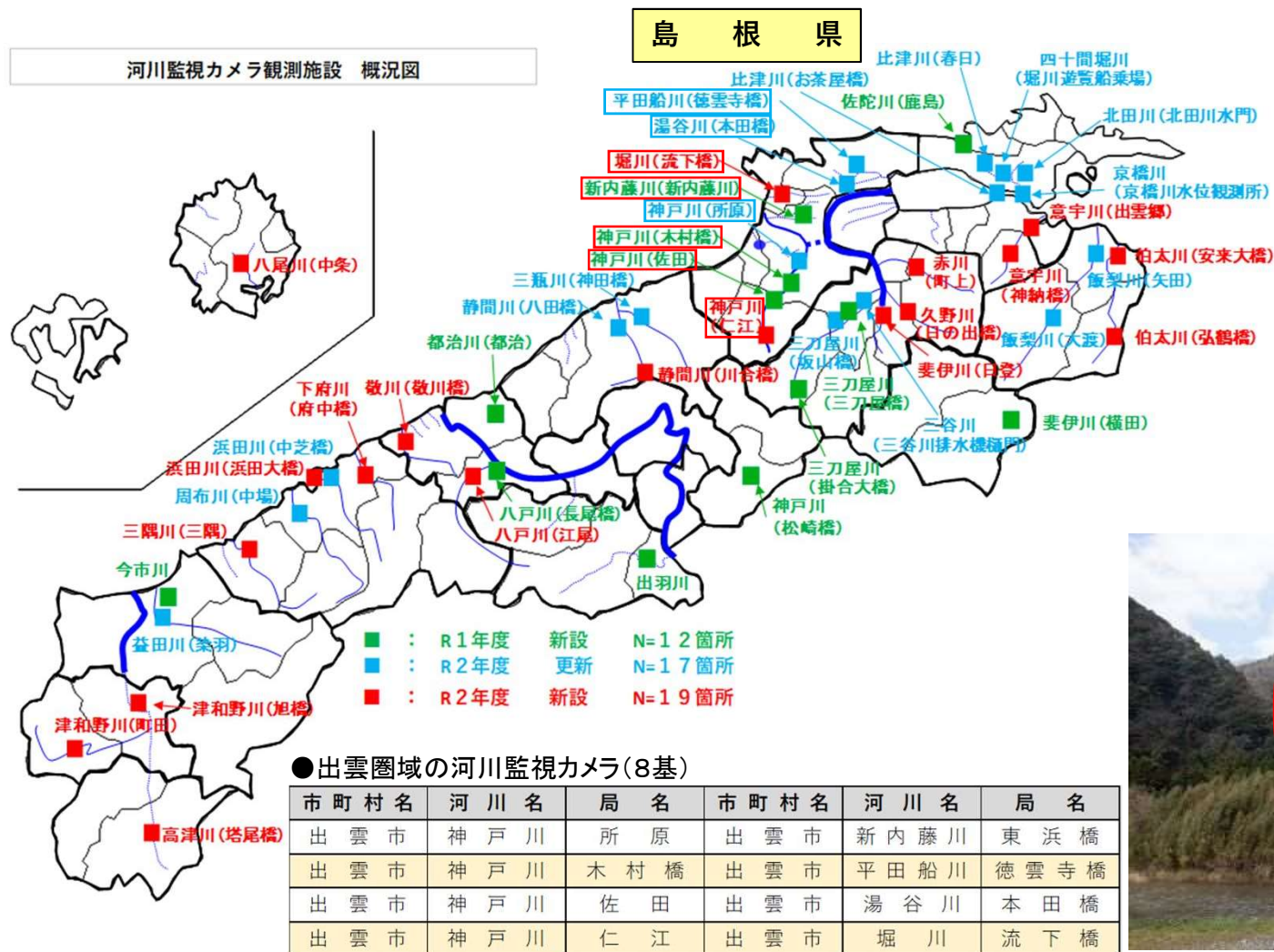
●発表日時:2019/06/30 5:13
●水防情報:
島根県から発表されました。
河川:宍道湖(松江)水位:水防団
待機水位
防災ポータル:
<https://www.bousai-shimane.jp/>
※スマートフォン・タブレット・PC
の方はこちら
<http://www.bousai-shimane.jp/FP>
※ガラケーの方はこちら
登録内容の変更・配信解除は...

変更前

●発表日時:2019/06/30 5:10
●水防情報:
河川:宍道湖(松江)水位:水防団
待機水位に達しました
島根県水防情報システム PC サ
イト
<https://www.suibou-shimane.jp/pc/>
防災ポータル:
<https://www.bousai-shimane.jp/>
※スマートフォン・タブレット・PC
の方はこちら
<http://www.bousai-shimane.jp/FP>
※ガラケーの方はこちら

変更後

項 目	7. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内 容	R 3 年度取組	設置した水位計等の運用
	—	—
取組機関	島根県	



整備事例〔神戸川（木村橋）〕

項 目	8.出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及 (R04年度～ 7.住民の水防災・土砂災害意識の向上に資する出前講座や広報誌を活用した防災知識の普及や訓練)	
内 容	R 03年度取組	報道機関との懇談会を定期的開催
	R 04年度予定	定期的な開催を継続して実施する。
松江地方気象台 他機関と連携した防災知識の普及・啓発・周知(令和3年度実施)		

報道機関との懇談会を定期的開催

- ・ Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を
出雲河川事務所・浜田河川国道事務所と共同開催
- ・ 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
- ・ Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ
効果的・効率的な連携を実現

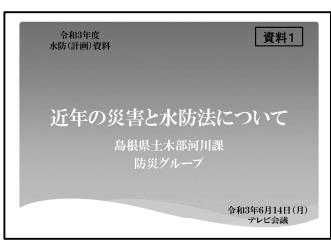


【開催実績とテーマ】

- | | | |
|-----|------------|--|
| 第1回 | 令和3年 6月 9日 | 「顕著な大雨に関する気象情報について」「メディアとの連携について」 |
| 第2回 | 令和3年10月14日 | 「住民に伝わる情報を目指して」「令和3年8月出水の概要」
「無堤部における氾濫発生情報の発表について」 |

項 目	8.出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及 (R04年度～ 7.住民の水防災・土砂災害意識の向上に資する出前講座や広報誌を活用した防災知識の普及や訓練)	
内 容	R03年度取組	新聞広報、出前講座等を継続実施、インターネット、CATVの活用
	R04年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施、インターネット、CATVの活用
取組機関	協議会全体 出前講座、研修会の実施、新聞広報等による情報発信（島根県）	

県・市町村職員向け
水防研修会の実施（島根県・松江地方気象台）

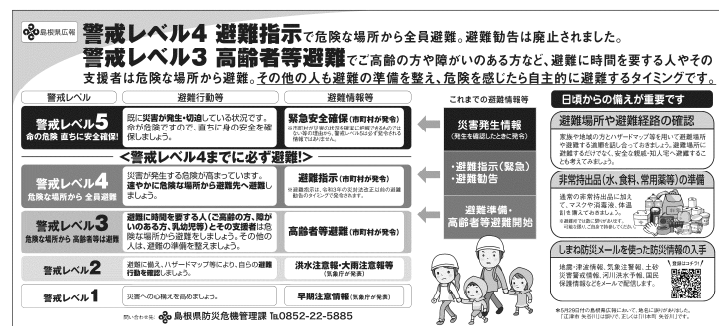


防災気象情報の利活用について

令和3年6月14日 島根県水防（計画）研修
松江地方気象台 水害対策気象官 中尾 浩徳

日時 令和3年6月14日（月）9：00～12：00
場所 県庁南庁舎災害対策室ほか（Web形式）
対象 県・市町村職員 29名
内容 水防法・島根県水防計画の概要 島根県河川課
防災気象情報の利活用 松江地方気象台

新聞広報による情報発信
考える県政の掲載（島根県）



日時 令和3年6月5日（土）
内容 警戒レベルと新たな避難情報について
日頃からの災害の備えについて
島根県が配信する各種防災情報の入手先について

防災士養成研修の実施（島根県）

※令和2年度の研修の様子



令和3年度は開催中止

令和4年度【予定】
日 時 令和4年5月14日（土） 10：10～17：30
15日（日） 9：30～18：30
場 所 いわみーる（浜田市）
受講者 54名（予定）
内 容 防災に関する各種講義、防災士資格取得試験

項 目	8. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内 容	R3 年度取組	新聞広報、出前講座等を継続実施
	—	—
取組機関	協議会全体	

○島根県の実施状況

実施事例～河川沿いに立地する保育園への出前講座～

実施日：令和3年8月26日（木）
 対 象：平田保育所3～5歳児 145名
 ほかに1施設

【出前講座の内容】

○紙芝居「台風がくるぞ」

○スライド「洪水から命を守るために気を付けること」
 避難するときの合言葉について

避難する時の合い言葉「おはしも」

お	おさない
は	はしらない
し	しゃべらない
も	もどらない

出前講座の様子



R3.8.26平田保育所



R3.11.26みなみ保育所

項 目	8. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内 容	R3年度取組	出前講座を実施、出水期前に広報誌に防災情報を掲載
	—	—
取組機関	協議会全体	

○出雲市の取組状況

地域、学校、企業等を対象に出前講座を実施した。(合計30件)



地域での防災講座の様子



小学校での防災教育(防災講座)の様子

項 目	8. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内 容	R3年度取組	出前講座を実施、出水期前に広報誌に防災情報を掲載
	—	—
取組機関	協議会全体	

○出雲市の取組状況

広報いずも 6月号（5月20日発行）にて、
大雨や土砂災害への備えについて掲載

土砂災害から身を守るためには

～集中豪雨の危険が高まる6月は「土砂災害防止月間」です～

土砂災害が発生する前には、前兆現象が起こる場合があります。前兆現象に気づいたら早めに避難し、防災安全課または各行政センター、島根県出雲県土整備事務所（☎30-5722）へ連絡してください。

がけ崩れ 急勾配の斜面が、瞬間的に崩れ落ちる現象。 〈前兆〉 ●がけからの水が濁る。 ●がけに亀裂が生じる。 ●斜面から小石がバラバラ落ちてくる。	土石流 谷や深流の石や土砂が、豪雨による大量の水と混ざり、一気に下流へ流れ出す現象。 〈前兆〉 ●山崩りや立木の裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる。 ●雨が降り続いているのに川の水位が下がる。 ●川の水が急に濁ったり、流木が流れる。	地すべり ゆるやかな斜面の土壌が、広い範囲ですべり落ちる現象。 〈前兆〉 ●地面にひび割れができる。 ●湧き水や井戸の水が濁る。 ●斜面から水が噴き出す。
--	---	--

防災行政無線戸別受信機を設置しましょう

戸別受信機は、災害時に防災行政無線からの防災情報を屋内で聞くことができる機器です。

また、戸別受信機からは、防災情報のほか、市からのお知らせも放送しています。

市から無償で（1世帯1台まで）お貸ししますので、ぜひ設置してください。なお、貸出料は無償ですが、申込時に加入料5,000円（1回のみ）の負担が必要です。

※戸別受信機の点検をお願いします

災害時に避難等についての情報が確実に伝わるよう、定期的な点検をお願いします。

- コードが断線していないか
- コンセントに接続されているか
- 乾電池が入っているか、消耗していないか



詳細はこちら

梅雨の季節となりました 大雨や土砂災害に備えてください

市では、避難等についての情報を防災行政無線、ケーブルテレビ、有線放送（ひらたCATV音声告知・大社ご線ネット）、エフエムいずも、市ホームページ、いずも防災メール、緊急通報メール（携帯電話事業者）、広報車等でお知らせします。

「警戒レベル4」で全員避難しましょう！

市民の皆さんが、防災情報の意味が直感的に理解でき、それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生の危険度とみなさんにとっていただく行動を、5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

避難情報（警戒レベル）
(令和3年4月時点)

警戒レベル 1: 心構えを高める (対象者が対象)

警戒レベル 2: 避難行動の確認 (対象者が対象)

警戒レベル 3: 避難に時間を要する人は避難 (市が発表)

警戒レベル 4: 安全な場所へ避難 (市が発表)

※警戒レベル5（市が発令）はすでに災害が発生している状況です。

コロナ禍における避難について、次の「5つのポイント」を確認しておきましょう / コロナ禍における避難の5つのポイント

- 避難とは【避】を【避】けること。
災害時の移動は危険を伴います。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。
- 避難先は、指定避難所だけではありません。自宅の2階や安全な親戚・知人家に避難することも考えておきましょう。
- マスク・消毒液・体温計は、自ら持参しましょう。
- 市が開設する避難所は、市ホームページや防災行政無線、いずも防災メールなどで確認してください。
- 豪雨時に、やむを得ず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。



～身近な危険をハザードマップなどで確認しておきましょう～

2021.5.20 広報いずも ⑨

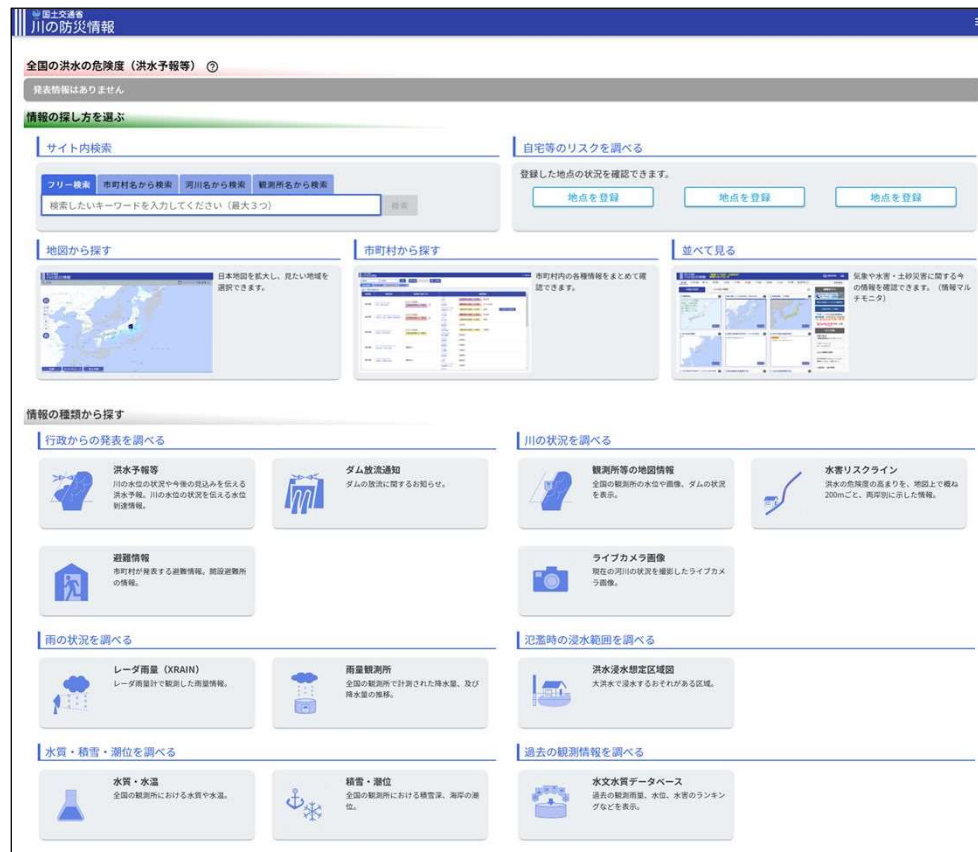
項目 8. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及
 ■水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現
 住民の水防災の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及や訓練

出雲河川事務所
 R3年度 取組

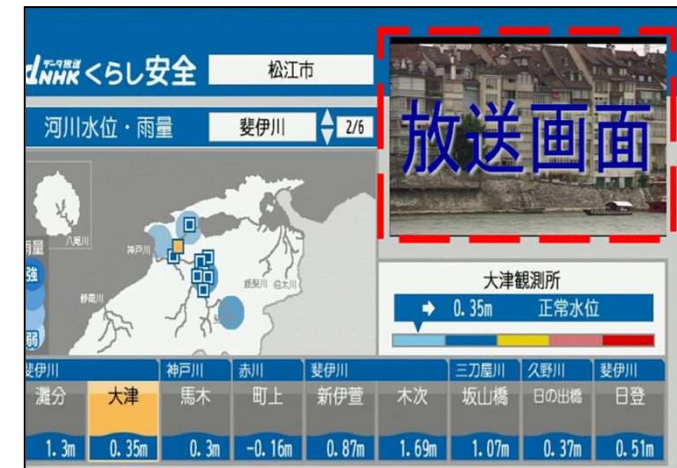
○「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知

洪水予報連絡会や水防連絡会において、「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知を行った。

- ・洪水予報連絡会・水防連絡会：令和3年6月21日 資料の配付・確認による書面形式による開催
- ・出前講座：令和3年7月31日 出雲市高松地区



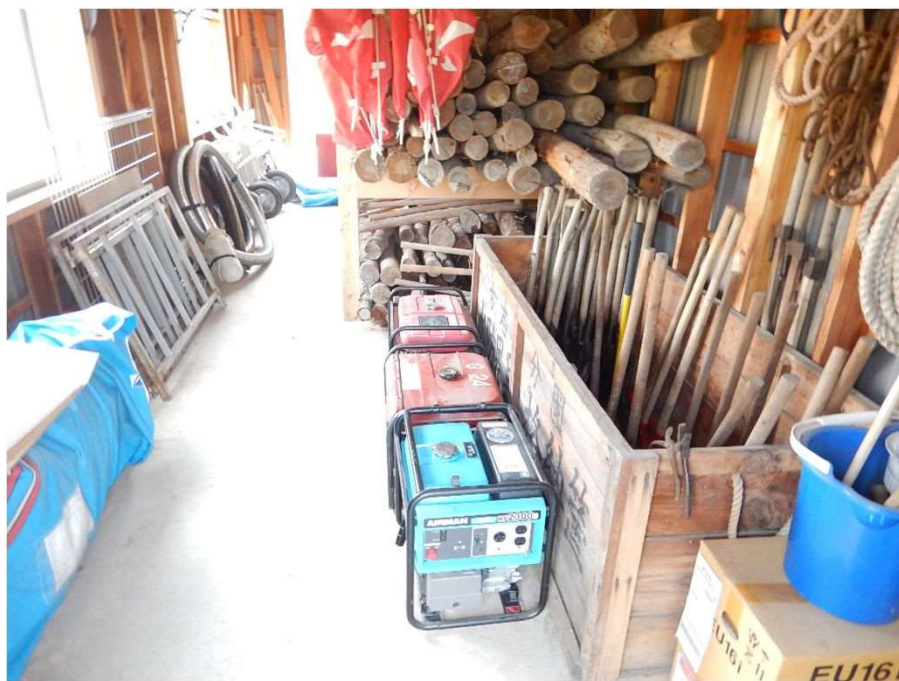
川の防災情報（情報マルチモニタ）



地上デジタル放送

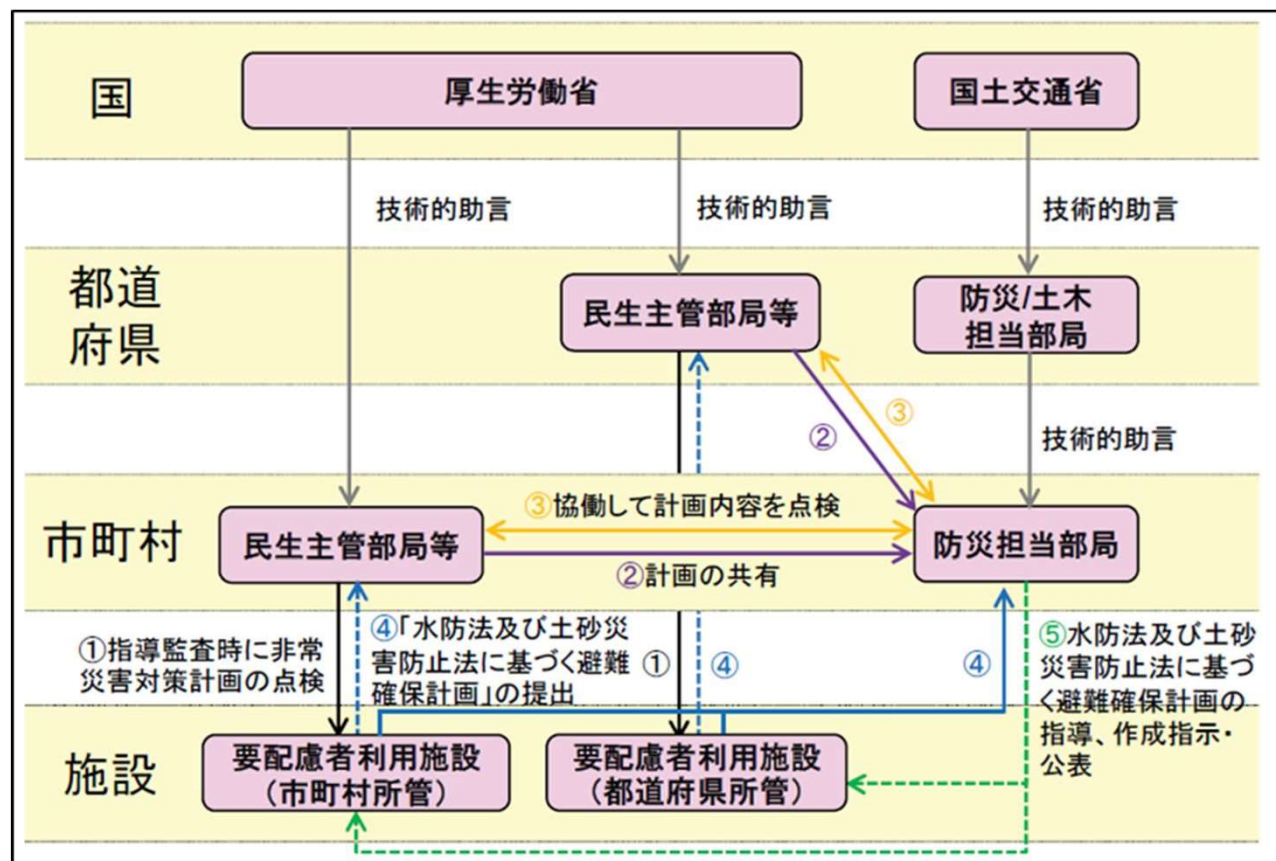
項 目	9. 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所共同点検等	
内 容	R3年度取組	水防団と共同での資機材点検を実施
	—	—
取組機関	出雲市、各消防団等、島根県	

出雲市では、毎年、出雲市水防団員と合同での水防資機材点検を実施。
 （令和3年度は17箇所実施）



項 目	10. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	
内 容	R3年度取組	対象施設に対する説明会の実施、作成支援（協議会全体）
	—	—
取組機関	協議会全体	

要配慮者利用施設の
避難確保計画作成・
点検の流れ



国土交通省HP「◇法改正についての各地方ブロック説明会資料（平成29年6月作成）」より抜粋

項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	R 3 年度取組	協働で効果的な河川管理
	—	—
取組機関	出雲市、島根県	

施工前

R 3 年度施工後

新建川



神戸川



項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	R 3 年度取組	本改修
	—	—
取組機関	出雲市、島根県	

整備前

新内藤川 八幡橋下流 整備状況

令和2年度末 整備後



整備前

新内藤川 八幡橋上流 整備状況

令和3年度末 整備状況



項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	R 3 年度取組	本改修
	—	—
取組機関	出雲市、島根県	

赤川(整備状況)令和2年度末暫定改修完了



赤川(整備前)暫定改修



塩冶赤川(整備状況)令和3年度末に暫定改修完了



赤川(整備後)令和3年度から本改修に着手



項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	R 3 年度取組	本改修
	—	—
取組機関	出雲市、島根県	

午頭川 落合橋付近整備状況



午頭川 中橋付近整備状況

